

日欧スポーツビジネスプログラム第 2 期 報告

横浜 FC とポルトガル・オリヴェイレンセの「日欧スポーツビジネスプログラム」にご興味を持っていた皆様、実施報告をご覧いただきありがとうございます。

「日欧スポーツビジネスプログラム第 2 期」は 2026 年 9 月 5 日～9 月 14 日の 10 日間、ポルトガル現地での集客実践を行いました。

第 2 期では、第 1 期に引き続きスポーツビジネスや日本と欧州のプロサッカークラブ経営に関するインプットをオンライン形式で講義を行い、その後ポルトガル現地での集客実践プログラムを実施。スポーツビジネスの教科書にも載っていない、実践的で現場最前線の“リアル”を参加者の皆さまに体験していただきました。

現地の実習プログラムの中では、街に積極的に出てポスター貼りをするだけでなく、街のレストランの店主やお客さんなど地域の人たちとも積極的に会話をし、異文化での交流機会も非常に多くとることができました。また、今シーズンから新たにスタートした新規顧客獲得と将来のファンづくりのための施策の一つである「キッズパスポート」のオペレーションも行い、実際にスタジアムに来場した子どもたちとコミュニケーションを取り、その反応をリアルに感じることができました。

実施した主なテーマ

1. オリエンテーション
2. スポーツビジネス概論、J クラブの経営
3. 横浜 FC の経営
4. 横浜 FC の集客戦略（国立開催の裏側）
5. マルチクラブオーナーシップ（MCO）
6. オリヴェイレンセの経営
7. ペヴィデン SC 日本人オーナーの挑戦
8. J リーグ ホームゲーム視察（10/10 横浜 FC vs 大分トリニータ）
9. J リーグのマーケティング・プロモーション

今回の滞在では、ポルト市内の海沿いのアパートで共同生活を送り、ポルトガルのサッカー文化や街の人々と深くふれあう充実した時間となりました。

到着の翌日に、オリヴェイレンセのアウェイゲームのため首都リスボンへ車で移動。

初日からリスボンへの移動はハードだったと思いますが、欧州のローカルフットボールの熱気ある環境を目の当たりにしながら、アウェイゲーム（アトレチコ CP vs オリヴェイレンセ）を観戦しました。



そして翌日から、このプログラムのメイン企画である現地での集客実践がスタート。

10 日間、オリヴェレンセのホームタウンであるオリヴェイラ・デ・アゼメイス（Oliveira de Azeméis）にて現地実習を行いました。まずは、第 1 期生が始めて今では試合前の基本活動として定着しているポスター貼りを実施しました。

更に今回の第 2 期では、街のレストランやカフェにも積極的に訪問し、お店の方に直談判。

店内へのポスターやユニフォームの掲出など、オリヴェレンセの試合告知にご協力いただくことができました。



また、オリヴェイレンセの街にほど近い「ルシタニア・ロウローザ」がオリヴェイレンセのホームスタジアムで試合を開催することとなり、当日行われたポルトガル 2 部リーグの試合（ルシタニア・ロウローザ vs AVS）を観戦しました。

ポルトガルでは、施設の老朽化をはじめとする様々な要因からリーグ基準を満たせず、自チームのホームスタジアムで公式戦を開催できないクラブがいくつか存在します。



別日には、オリヴェイレンセのトップチームの練習を見学し、選手たちとともに集合写真を撮影しました。また、オリヴェイレンセでプレーする日本人選手とも直接言葉を交わす貴重な時間も持つことができました。

練習見学を終えて一息ついた後は再び街へ繰り出し、クラブの露出拡大というミッションに向けて、地元の理髪店やカフェなども巡りました。





今回のプログラムでは、街に出て地域の人たちと交流をすることに加えて、新しい顧客の獲得と将来のファンづくりを目的としてキッズパスポートを実施しました。試合に向けて、子どもたちにお渡しするパスポートとシールの準備もみんなで手分けして行いました。

スタジアムへ足を向けてもらうためにはやはり明確なきっかけとなるものがが必要です。

このパスポートは、スタジアムに足を運ぶ理由の一つとして“子どもが行きたがったから”という理由を生み出し、保護者の方々にも一緒に来場してもらうことで顧客拡大を目指す取り組みです。

その動機付けの一つとして、スタッフが入場ゲートで手渡すシールを集めるアクティビティです。

全てのシールを集めると素敵な特典をもらえる仕掛けになっているため多くの子どもたちが目を輝かせて参加してくれました。

プログラム参加者も実際のオペレーションに加わり、子どもたちに直接話しかけ、キッズパスポートについて紹介し、当日スタジアムに来た多くの子どもたちと笑顔でふれあう機会になりました。





更にキッズパスポートのオペレーションだけでなく、試合中にピッチサイドでの公式カメラ撮影を担当し、現場最前線におけるクラブ広報のリアルな業務も体験しました。

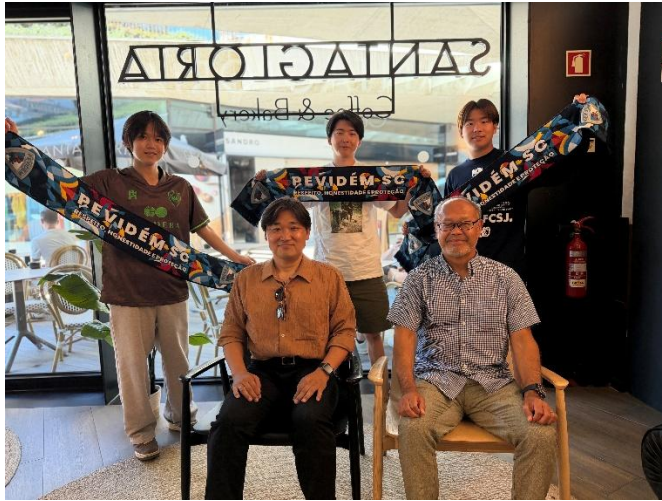
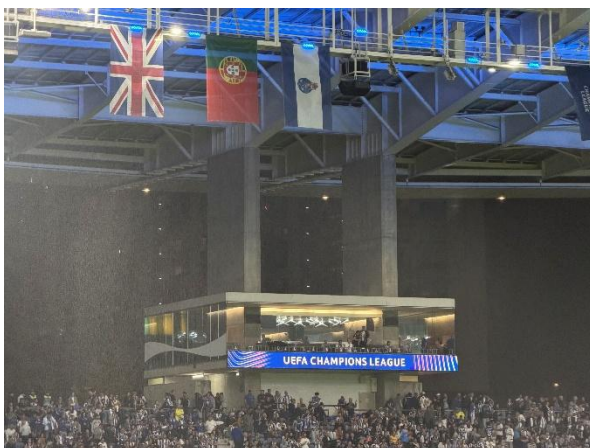
ゴールを決めた選手がカメラに向かってきてゴールパフォーマンスする臨場感を目の前で体感したほか、試合後には選手から直接ユニフォームを手渡され感謝の言葉をかけられるなど、普段の生活では味わえないとても貴重な経験となったと思います。



プログラムの番外編として、第2期ではオリヴェイラ・デ・アゼメイスで開催された大規模イベント「NOITE BRANCA（白夜祭）」への参加や、ポルトやアヴェイロの観光など、フットボール以外の面でも充実した時間を過ごしました。

また、第1期に引き続き、ポルトガル5部リーグのペヴィデン SC の日本人オーナーである石塚辰八氏から、ご自身のキャリアや人生設計にも通ずる熱いお話を聴かせていただきました。

そしてなんと、滞在中に開催された UEFA チャンピオンズリーグの FC ポルト vs マンチェスターシティの一戦をスタジアムで直接観戦する機会にも恵まれました。



10日間というハードスケジュールながらも、自ら一步踏み出し挑戦して得た貴重な経験。そしてポルトガルの美しい街並みや美味しい食事、さらには欧州フットボール文化にもどっぷり浸かって楽しみながらポルトガル滞在を満喫することができました。

ぜひ、皆さんも異国の地での文化や美しい景色、あたたかいポルトガル人の人柄にふれながら、プロサッカークラブ経営の現場を体験してみませんか？

次回の第3期は更にパワーアップし、これまで実施できなかった試合日のイベント運営も行います。
現在、このポルトガルの地で、日本文化を紹介し地域の人々と交流するイベント『日本祭り』を絶賛企画中です。

ここまで現場最前線の泥臭いリアル、選手やスタッフが奮闘する姿、成功や失敗もすべてを見せられるクラブは中々ないと思いますし、ヨーロッパのローカルフットボールの熱気やその実態、そして海外生活の中で得られる特別な感覚を経験できるめったにない機会ですので、ぜひ参加を検討していただければ幸いです。

なお、第3期はこれまでの10日間から「約7日間」へ日程を凝縮して実施します。現場実習を7日間に集中させ、プログラム期間中にさらに深めたい観光やサッカー観戦などは、追加日程としてご自身の希望に合わせて柔軟にお選びいただける形を予定しています。

まずは現在お申し込み受け付け中のオンライン説明会（無料）へぜひお気軽にご参加ください。

・事前オンライン説明会申し込み URL :
<https://forms.gle/oG5WMSpEk2SdaUfo8>

お待ちしております。

横浜 FC/UD オリヴェイレンセ SAD
Football Business Director
松本雄一（Yuichi Matsumoto）